

キャリア形成支援に関する取り組み①

専門学校における教員研修会の取り組み

～フェイス・トゥ・フェイスによるジョブ・カードを活用した キャリア・コンサルティングのあり方～

広島商工会議所 広島県地域ジョブ・カードセンター 今村 榮一

1. はじめに

広島商工会議所では、平成20年6月より日本商工会議所より業務委託を受けて「ジョブ・カード制度」の普及促進に取り組んでいる。今号と次号の2回にわたり、その取り組みを紹介する。

今号では、広島県の専門学校 学校法人上野学園におけるキャリア・コンサルティングの取り組みを報告する。

<学校法人 上野学園の概要>

<http://www.ucs-hiroshima.ac.jp>

■所在地：広島県広島市（本校）
設置校7校

■創立：昭和41年

■設置科：7科
会計・電子、ビジネス、外語、
コンピュータ、美容、
情報ビジネス、公務員

■学生数：2,000名（男女比 4：6）

■教職員数：130名（その他非常勤講師）

■就職率：100%（就職は広島県内多数）

■基本理念

手作りたまごころによる感動の教育を実践し、人づくり町づくり国づくりに寄与する。

学内にキャリアセンターを設置して、学生が社会に貢献しながら自己実現できるよう全教職員がこの基本理念を念頭に置き、学生の指導に日々努力している。

2. ジョブ・カードへの熱意と研修の要請

上野学園の副学園長 森川 譚雄氏（広島修道大学名誉教授、広島県地域ジョブ・カード運営本部会議議長）は、「これからの人材とジョブ・カードシステムの意義」⁴⁾を強く認識されており、学園の教職員に対する夏季研修の一環として研修を実施してほしいとの要請を受けた。研修内容、実施日等については、同学園キャリア支援課と打ち合わせを行い決定した。

上野学園から依頼を受けた研修趣旨は、以下の3点である。

- (1) 昨今の厳しい雇用情勢のなか、専修学校における就職指導においては学生の性格や適性、取得資格等からみた学生自身の強み学生本人の望むキャリア形成に応じた就職指導が求められている。社会人の再就職についてはキャリア形成を支援する取り組みとしてジョブ・カードを活用したきめ細かな指導が普及しつつある。学生に対する就職指導においても将来的にはこのジョブ・カードを導入して（学生がジョブ・カードシートに記入して）の活動ということになってくる可能性がある。
- (2) 国の施策としておおむね3年以上の職業指導の経験のある教員についてはジョブ・カード講習を受講して、登録キャリアコンサルタントとしての活用（学校等における配置）が求められるようになってきている。

ジョブ・カード様式1〔履歴シート〕②

上野学園 教員研修会 ロールプレイ 作成例

氏名	グループ②女性
----	---------

資格・免許			
取得年月	名称	実施機関名	内容等
H20年3月	普通自動車第一種運転免許	広島公安委員会	
H21年11月	日本商工会議所簿記検定3級	日本商工会議所	経理担当者として必要な商業簿記に関する知識を有し、簡易な実務処理が出来る。

自己PR(趣味・得意分野・社会体験活動(ボランティア、サークル活動など))
趣味:散歩。ペットを飼っており毎日散歩しています。一日の疲れ、明日への元気をくれる大切な存在です。自宅から学校まで約3kmを毎日歩いて通学しています。"歩く"ことを通じて自分の健康管理の一つとして継続していきたいと思っています。
高校時代から無遅刻、無欠席です。
得意な科目:ホテル実務。8月の国家試験、レストランサービス技能検定の取得を目指しています。
自己アピール:現在アルバイトでサービススタッフとして働いています。協調性を持って、職場で円満な人間関係を築いていく自信があります。
また、バレーボールを小学校4年生から続けており、小学生にコーチしています。バレーボールの練習を通してあいさつ・チームワークの大切さを指導しています。

志望動機(応募先決定時に記載)
貴社は国際文化都市広島島の玄関口にふさわしホテルとして、JR西日本ホテルグループの一翼を担っておられると承知しております。
そのため各種幅広い業務に取り組まれ、多様な人材確保を目指しておられると伺っております。
私は、現在アルバイト通しての経験しかありませんが、サービススタッフとしてお客様に接する機会を通して、接客業にあこがれています。
お客様のご要望にすぐに対応し、最善を尽くすことで、会話がスムーズに出来るようになり、人として大切な思いやりの心を学ぶことが出来て、この業務を通して自己実現を計りたいと考えています。
協調性をもって職場で円滑な人間関係を築いて行く自信があります。こうした能力を活かして貴社で働きたいと思い、志望いたしました。

労働条件等についての希望	正社員希望	通勤時間 約 時間 分	配偶者 有 (無)	配偶者の扶養義務 有 (無)	扶養家族数 (配偶者を除く) 0 人
--------------	-------	-------------------	--------------	-------------------	--------------------------

ジョブ・カード様式3〔キャリアシート〕

氏名	グループ②学生20歳女性	上野学園 教員研修会 ロールプレイ 作成例
就業に関する目標・希望		
<p>(職務経歴、教育訓練経歴、取得資格等からみた強み、これまでの求職活動や能力評価等を踏まえた今後の課題、能力開発の目標について記述)</p> <p>これまでの職務経験では、アルバイトで〇〇会社コンビニストアで食品売場の業務に従事し、接客業の職務に関心が強いことを認識しました。</p> <p>お客様の要望に最高の笑顔ですぐ対応し、会話の大切さを学び、そのことを通して明るく楽しく働くことの喜びを感じています。一方で自分の意見等、筋道を立てて相手に説明し、納得していただくことに課題があることがわかりました。このため、これからのホテル業務に携わるために、NPO〇〇アカデミーの「コミュニケーション基礎」通信コースを受講し、併せて日常会話レベルの英会話の勉強をしています。</p> <p>さらに将来、ホテル業務の企画提案ができるスタッフになるため、情報収集して知識の習得を目指して行こうと思います。</p>		
(希望する職業・職務)		(希望理由等)
ホテル業		私は、これまで人に喜んでもらえる仕事がしたいと思っていました。
ホテルスタッフ		現在アルバイトを通してお客様への接客を通しての業務に携わりたいと、強く意識するようになりました。その夢を実現する仕事として、ホテル業においてお客様にまごころのこもったサービスをお届けするホテルスタッフを目指したいと思います。
キャリア・コンサルタント記入欄(※)		
平成22年8月20日 10.00~11.00 所属 広島商工会議所 広島県 地域ジョブ・カードセンター 電話 082-222-6658 ジョブ・カード講習修了番号 08-32-1024005 氏名 今村 栄一	(キャリア形成上の課題、支援のポイント)	
	非常に高い職業意識を持っている。アルバイトを通して、自分のやってみたい仕事に出会えた喜びを感じている。自分のキャリア形成もこの仕事の継続の上に成り立つと思う。明るく満面の笑顔で語ってくれる言葉には、大きな夢を実現したい強い決意を感じる事が出来た。	
	(キャリア意識の形成プロセス) JC制度においては初回は記入しない	
正社員希望であるが、ホテル勤務に携わるための課題も強く認識した。 今回のキャリア・コンサルティングにおいて、その課題克服することが明確になった。		
(その他特記事項)		
自分の能力を発揮できる業務を見つけることが出来た喜びを強く感じている。 夢の実現に向かい、自己啓発に心掛け、これからの人生に幸多かれと祈念する。		

Ver.2.0

(3) ジョブ・カード講習（登録キャリアコンサルタント）の受講については今後いろいろな機会があると思われる。この講習の中で一番大事なことは、本人との面談から職業意識、自己PRやキャリア形成上の課題を明確にする（本人に気づかせる）ヒアリングの手法（ヒアリング技術）にある。以上のような趣旨から、研修によってキャリア・コンサルティングのコア技術の1つであるヒアリング技術のノウハウを身につけることは、今後の就職指導において、学生自らによる目標設定、自己PR等の作成に役立つものと考えこの研修を企画した。

講師は、ジョブ・カード制度の雇用型訓練に関する実績を数多く有している広島商工会議所の登録キャリアコンサルタントに講師をお願いしたいという要請を受けた。

3. 研修内容

- (1) 「ジョブ・カード」から見えるもの⁵⁾
「ジョブ・カード」って何
- (2) 有期実習型訓練における訓練生のジョブ・カード様式記入事例
- (3) キャリア・コンサルティングの実施上の注意事項
話しやすい雰囲気、聞き上手、説教調になるな
- (4) キャリア形成上の課題・支援のポイント
キャリアシート記入・コメントをするにあたって
- (5) ロールプレイング
グループ①
学生：20歳 男性
資格：日商簿記1級
趣味：野球観戦（広島東洋カープ）
自己PR：目標に向かってあきらめず努力する
粘り強さに自信がある。
グループ②
学生：20歳 女性 アルバイト歴あり
資格：日商簿記3級
趣味：散歩（ペット飼っている）
自己PR：協調性をもって、職場で円満な人間

関係を築いていく自信がある。高校時代から無遅刻、無欠席。

上記の二人の学生のジョブ・カード様式

1（履歴シート）に基づき2人グループ（学生—先生）が面談して様式3（キャリアシート）を作成する。

ヒアリング 時間30分。

ヒアリング実施後代表グループが発表する。

4. 研修効果

- (1) この研修は2回（H22. 8/17, 8/20）に分けて校長先生を含む49名の教職員が参加しジョブ・カードを活用したキャリア・コンサルティングの手法について研修を行った。研修後、参加された校長先生初め多くの先生から、「中身が大変よく理解できた。就職の厳しいなか、研修で学んだことを今後の学生への就職指導に大いに生かしていきたい。」「ジョブ・カード認定講習を受けて、今回は2回目ですが少しずつではありますが制度の内容や面接の工夫について知識を得ることができました。」とのお礼を含めた感想が寄せられた。
- (2) 特に「ケース例に基づくロールプレイ」においては、2人一組で学生と先生の役割で実践したヒアリングは笑いもあり、楽しい雰囲気で行われポイントをついた報告がされた。参加された先生から「教員という仕事柄どうしても口調が命令調になったり、相手よりも自分がしゃべることが多くなったりすることがあります。そのような注意点を気づかせてくれたり、ほかの教員はこのようなところからアプローチするのかといった点が参考になりました。」との感想をいただき、まさにノウハウが体に染み渡って習得できたという現れと実感した。
- (3) ジョブ・カード様式（履歴シート、キャリアシート）の記入の仕方についてどのように整理すればよいのかなどの質問に対しては、記載例を示し相談によるまとめ方を事例に沿って説明した。参加された先生から「キャリアコンサルタント記入欄に、学生を対象に記入されていた部分が大変参考

- ① 研修日時H22. 8.17 (火) 13.00～15.30 参加者
30人



教員研修



ロールプレイ



実施発表

- ② 研修日時H22. 8.20 (金) 15.00～17.30 参加者
19人



ロールプレイ (生徒-先生)



ヒアリング実施発表

になり今後学生対象なのですぐにカード記入にならないかもしれないが記入のコツといった部分は勉強できた。],「実践的な整理方法であり,すぐに活用できる。」という意見であった。

- (4) 学生との関係構築を図りながら相談者の強み(自信)を高めるという観点からジョブ・カードの作成支援(見える化)は,今後のキャリア形成に非常に大切である。そのために効果的なキャリア・コンサルティングのあり方⁶⁾として,①話しやすい状況を作ること,②傾聴・情報提供のスキルを高めること,③学生に“よりそうように!”支援をすること,“そっと背中をおしてあげる!”こと,などの能力の重要性について,具体例を通して理解された。

5. 今後の実践に向けて

- (1) 学生に対するキャリア・コンサルティングの重要性は理解できるが,教職員の人的体制から多数

の学生に対応することが現実問題として難しいとの意見が出された。その点について,例えば学生の特徴を把握してから,本当に寄り添って支援する者,少し背中を押してやればできる者など,支援の力の入れ方で1/3に分けて,指導側の負荷を分散できる方法を提案した。

(職業意識レベル⁷⁾から①“よりそうように!”—やりたいことがわからない。何をしたいのかわからない者に自己理解,職業理解等の支援を行い,働くことに興味や自信を持つことができるようにする。②“そっと背中をおしてあげる!”—就職を希望しているが就職活動のきっかけがない。ハローワーク等の公的機関の利用を躊躇している者にキャリア形成支援,職場見学会,専門家の声を聞くなどによりやりたい仕事を絞り込む。③“自分でできる!”—自主的に就職活動を行っている。自分で求人票も検索できる。自分のなりたい仕事に向けて頑張っている。)

- (2) 本学園においては,入学当初より社会人としての基礎力を育むためきめ細かな職業指導を実施しており「チャレンジする精神」「コミュニケーション・プレゼンテーション能力」「リーダーシップ」など日常のあいさつから社会人としての心構え,就職活動方法など個別の指導が実施されておりその成果が就職率ほぼ100%の実績に繋がっている。また,「人材育成懇話会」が設けられており企業と連携し,よりよい人材育成する活動が続けられている。

今後ジョブ・カードを活用しキャリア形成支援の取組を検討していくことになっている。

- (3) 就職後も学んだ母校で継続して「リカレント教育」が受けられることは,卒業生も安心して就業生活が送れ,また企業における人材育成の面からも今後ますます学園の果たす役割が増大していくものと思われる。今後,ジョブ・カードが国民のツールとして定着してくるなかで当学園において学んだ人のキャリア形成に大きく影響し,感動・感激できる事例が生まれることを期待している(平成23年4月策定されたジョブ・カード制度 新「全国推進基本計画」で国は,学生用のジョブ・

カード様式の開発を行うことになっている)。

6. 地域の人材育成をリードする上野学園への期待

上野学園の基本理念の実践に向けて、以下の取り組みに期待したい。

- (1) ジョブ・カード制度には、企業の将来的な中核人材育成のため「実践型人材養成システム」⁸⁾がある。訓練の対象者は、新規学卒者、自社の非正規労働者で正社員化に活用できる。このシステムは、企業現場における実習（OJT）と企業ニーズに則した座学等（Off-JT）を組み合わせた実践的な訓練である。

Off-JT実施機関はOJT実施企業以外の専修学校等に限られ、この制度利用にあたって一番の課題がOff-JTの教育機関の受け入れである。当学園において座学の教育訓練カリキュラムを編成して、その受け入れを可能にすることによって、地域に根差した学園として入学から就業後の生涯にわたって就業能力（エンプロイアビリティ）のキャリア・アップ、ブラッシュアップのワンストップサービスの役割をリカレント教育、生涯教育の一環としてぜひ担ってほしい。

<引用資料>

- 1) 「ジョブ・カード制度」説明会
- 2) 教育ステップアップ体系図
- 3) パイ生地づくりに放った、キャリアコンによるキャリア生地づくり
- 4) これからの人材とジョブ・カードシステムの意義—森川 譚雄（広島修道大学名誉教授）
- 5) 「ジョブ・カード」から見えるもの
- 6) 平成21年度キャリア・コンサルティング研究会報告書発表—平成22年3月29日厚労省報道発表資料
- 7) 職業意識レベル
- 8) 実践型人材養成システム
- 9) 働くことの意義・今身につけておくこと
- 10) たよりなくかすかな轍
- 11) 新成長戦略（雇用・人材戦略）フロー図

<参考文献>

- (1) 職業研究 社団法人 雇用問題研究会 2011 冬季号 巻頭言 日本キャリア教育学会名誉会長 仙崎 武
- (2) 特別研究 企画報告書 独立行政法人 雇用・能力開発機構 職業能力開発総合大学校 「わが国の職業能力開発のあり方に関する総合的研究」2011年1月発行
- (3) 平成23年度版 ジョブ・カード制度推進事業 普及促進事業を含めた活動実績 平成23年6月30日 日本商工会議所 中央ジョブ・カードセンター
- (4) キャリアガイダンス 2010/2 NO. 30 第4回「高校生と保護者の進路に関する意識調査」不安社会の親子関係
- (5) 四天王寺大学紀要 第46号（2008年9月） 「職業能力開発制度に関する課題」木村 三千世
- (6) ジョブ・カード制度 新「全国推進基本計画」平成23年4月21日 ジョブ・カード推進協議会